

「伝統の確立と天一国創建」



今、お母様の最大の関心事が、天に対する伝統の確立であります。私たちが果たすべく責任は、お父様の願ひであった天一国創建であります。本来は、基元節までに果たすべきでした。“2013年1月13日までに全て清算しなければなりません。その期間までにやらなければならない最も重要な問題は何かというと、皆さんの一族が民族的メシヤの責任と国家的メシヤの責任と世界的メシヤの責任と天を統治する真の父母の責任を完結することです。このような重大な時代において、今までの自分勝手に生きてきた生活は過ぎていきます。これらからは決断して新しく生まれて新生児のように出発するのです。”お父様は生きて天一国(神の国)に暮らして、実績をもって霊界に行かなければなりません。神様の国とは、天の法によって人類を幸せに導いていく神様の主権を建てていくことです。今は、お父様の願ひを果たすべく責任を、お母様が立って下さっています。お母様を通してお父様が生きて現れ、2020年までのビジョンを果たそうとしておられます。

お母様は、地上におられる間にお父様の伝統である教理をまとめられています。天の伝統の根本は、真の父母様であります。基元節より私たちが天一国の民の位置に引き上げて下さいました。サタンの讒訴条件を消すだけの蕩滅条件をご父母様が立ていかれた土台の上で、基元節を迎えたのであります。ご父母様が願う方向と完全に一致して、生まれ変わって新しく出発した基元節からの歩みは、天一国を築くための伝道の基台をつくって実現していかねばなりません。

天一国経典出版記念式典でのお母様のみ言は“天の伝統を立てることができた。このみ言がどれほど貴重なかわかりますか。どれほど感謝しないといけないか。どれほど恩恵であるか。最高の宝石を頂いたようなものである。これからはこのみ言を訓読してみ言の如く生活をしていかないといけない”と語られました。人間が地上で生きるに於いての三大栄養素が“空気”と“光”と“飲食物”です。特に“空気”と“光”がなければ生きていけません。これに相当するのがみ言です。人間は空気と光が必要のように、み言なくしては生きられないように神様は設計されているのです。ですから人間は目に見えない神様と霊界を感じて生活しなければいけません。神様との関係を取り戻すことなくして個人の幸せ、家庭、国家、世界の幸せもあり得ないのです。み言によって人は救援されていくのです。霊的な生活を営む上での必要な霊的营养素は、“新天聖經”“父母経”“平和経”であります。これは天一国の結実であります。天一国を創建していく土台となる天の伝統の確信部分を、お母様がしっかりと立てて出発されておられます。

8月23日真のお父様聖と一周年の時は、天の法律が発表されます。お母様が霊界に行かれてからも100年後、1000年後までも変わらない天の法律を定めることによって、天の伝統を確立されていかれます。み言を中心とした伝統に基づきながら、2020年のプロジェクトである天一国の基盤を築いていくのです。2020年のビジョンを実現していく大きな方針の柱が伝道であります。神の国を建てていく上で、全ての食口が天一国の基台となって、天の父母様が頼らざるを得ないそれぞれが持っている必要な能力を最大限に活かしていきましょう。熱意と真の愛の動機をもって具体的な精誠を捧げていけば、必ず成就されていくのであります。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
皆様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、2013年伝道勝利のための「第3次50日路程」が行われています。
期間:2013年7月2日(火)~8月20日(火)【50日間】
スローガン:「新氏族メシヤ活動の定着と爆発的伝道」
- 3、真の父母様聖と一周年記念100日精誠祈禱会が行われています。
期間:天曆4/7~7/17(陽曆5/16~8/23) 21:00~22:30
- 4、大母様をお迎えしての京都教区食口集会
日時:7月10日(水) 集合:18:00 場所:京都教会
- 5、新氏族のメシヤ勝利の為の天運相続還元祈願礼式
日時:7月11日(木) 11:00~15:00(10:00開場)
場所:ワールド記念ホール(神戸ポートアイランドホール)
- 6、伝道3日路程
7月16日(火)~18日(木) 全食口同参
- 7、京都教区祝福式
日時:7月21日(日) 14:00~ 場所:京都教会
- 8、日本文化講演会
日時:7月24日(水) 10:30~
場所:サン・アカデミー京都
- 9、カップルセミナー
日時:7月28日(日) 10:30~16:00
場所:ホテル京都エミナース
- 10、女性のための理想家庭講座
日時:7月29日(月) 10:30~15:00
場所:京都教会
- 11、「真のお父様聖と1周年追慕礼拝」(仮称)行事と「清平大役事」
【日程】Aパターン:8月22日(木)~8月24日
Bパターン:8月22日(木)~8月25日又は26日帰国
※Bパターンは、「真のお父様聖と1周年追慕礼拝」終了後から「清平大役事」のスケジュールになります。
- 12、京都セミナー(二日修練会)
日程:7月13日(土)・14日(日)、7月20日(土)・21日(日)
場所:サン・アカデミー京都
【1日目】13:30~20:00(13:00受付)
【2日目】10:00~16:00(9:30受付)
- 13、しあわせ講演会
毎週金曜日 10:30~、14:00~ 場所:サン・アカデミー京都
- 14、教区全体特別精誠祈禱会
毎週金曜日 21:00~
- 15、神様摂理史の責任分担解放圏完成宣布教育
日程:7/12(金)午後4時~7/16(火)正午
- 16、清平修練会
7/12(金)~7/14(日)、7/20(土)~7/22(月)

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP: <http://www.uckyo.org/>

式次第



執礼者：武藤努教区長

司会者：佐々木大作

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 26 番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	聖和1周年特別50日精誠	
※讃 頌 聖歌 39 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

本来、2012年までに全てを終わらせなければならなかった私たちですが、神様が「今全てを成した」とおっしゃることができる平和の天国のために、2012年までに氏族を教育しなければなりません。(2003.12.23)

しかし、民族的メシヤを完成して、神様に実体の祖国を奉獻することはできませんでした。お父様は全てを完了、完結、完成されながらも、責任を果たせなかった私達に最後、民族的メシヤの勝利を願って祈祷され、聖和されました。私達には親の願いを果たせずに真の父を霊界に送ってしまった恨があります。その願いをVISION2020で果たす為、お母様を中心に基元節でもって新たに出発いたしました。3月、4月、5月で出発の基台を整え、その土台の上に、6月、天地人真の父母様が日本に私たちの恨を溶かすことのできるVISION2020に向かう心情の種を植えて下さいました。

6月10日お母様より新しく天聖經と平和経を頂き、御言の種をいただきました。また、ハワイでは最初から最後まで行動を共にしてください、行く場所もお父様との因縁のある場所を選んで下さって、真の父母様の親の熱い心情を植えて頂きました。以前、ハワイで決意を持って出発するようお父様がバンドをプレゼントされた様に男性にはバンドを選んで下さって、決意を植えて下さいました。口を拭くナプキンまで準備してください、万民の母として愛する心を植えて下さいました。また、旧公館では金日成主席に会う直前の命がけの心情を接木して下さいました。そのようにして尊い心情を接木してくださいました。

その種を持って、親の願いを果たせずに霊界に送ってしまった恨を如何に解くのでしょうか？全てを許してもらうには50の期間が必要なことを教えて下さいました。7×7の49年を越える50年目のヨベルの年を以って、全てを許されて出発できることは聖書が教え、お父様が教えて下さいました。6月に植えられた種のもと、聖和1周年までの50日間の特別路程の精誠を持って勝利の祭壇を築き、地上と霊界が一つとなって真の父母を中心としたVISION2020勝利の基台を立ててまいりましょう。



統一運動

崔妍娥様をお迎えして成和青年特別礼拝

■真のお母様の事情・心情を伝える

2013年6月23日午前10時30分、大河原邦彦成和青年部長の司会で成和青年特別礼拝が始まりました。会場となった希苑教会には首都圏の教会とカーブから 113人の青年たちが集まり、崔妍娥様をお迎えしました。

花束贈呈に続いて、祝福二世青年2人が伝道および社会人としての歩みについて証したあと、妍娥様が登壇され、メッセージを語られました。

「真のお母様は、心の中にある多くのお考えを全て整理、消化して簡潔な言葉で伝えてくださいます。お母様は、あまり多くのことを語られませんが、子供である食口たちの前には、語りたくても語ることができない内容が多くおありなのです。そのことを思うと、私たちがよく理解できないことを申し訳なく思うのです」

「私は、『食口たちが霊界に行って真のお父様の前に勝利者として立つことを願う心で語っているのです』というみ言を伺い、お母様の一言一言の背後に、情動的に大きな事情が秘められていることを知りました」

妍娥様はどのように語られながら、真のお母様に侍る中で感じられた、お母様のご心情を証して下さいました。

そして、「真の父母様を一生懸命知ろうと努力すれば、より近く感じることができますし、み言一つ一つをより深く感じることができるようになります。時間をつくって、真の父母様の生き方について、もっと一生懸命学び、知ってくださるようお願いいたします」と語られました。

さらに妍娥様は、「覚えておいてください。あなた方は真の父母様の自慢の息子、娘です。真の父母様に似た、そして、父母様よりも素晴らしい子女になってください。それが父母様の願いであり、希望です」と激励のメッセージを下されました。

